

# 本マニュアルの使い方

本マニュアルは、「技能実習制度に介護分野を追加する際の技能評価システムのあり方に関する調査研究事業」において検討された評価項目（案）に基づき、各項目を評価するうえで必要な、評価の基準について記載しています。

例 < I. 必須業務の場合 >

## 1. 入浴

### (1) 顔の清拭の介助ができる

「生活のリズムを作り、気分を爽快にする支援のために、利用者の状態に応じた清拭の介助ができているか現認する」

#### <チェック項目>

- ① 適切な温度のタオル等を準備したか
- ② 目頭から目尻に向けて拭いたか
- ③ 額から鼻、頬、鼻の下、口の周囲を拭いたか
- ④ 利用者の爽快感に関する言葉かけを行い、利用者の表情を見ていたか

#### <チェック項目と確認ポイント>

	チェック項目	確認ポイント
①	適切な温度のタオル等を準備したか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タオルを触って、温度が熱いか、冷たいか、ちょうどいいかを判断して使用している。</li> <li>・利用者に温度を確認している。</li> </ul>

#### (解説)

- ・タオル等の温度を事前に確認しない、例えば、清拭用保温器具から出した状態では利用者にぎたり、ひどい時には、やけどを負わせる危険があります。

	チェック項目	確認ポイント
②	目頭から目尻に向けて拭いたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目頭から拭いている。</li> <li>・同じ面を2度使って拭いていない。</li> </ul>

#### (解説)

- ・目の周辺を清潔にすることは、感染を防止する上で必ず行わなければならない行為です。この行為を正しく行うためには、拭く方向や、タオルやガーゼ等の同じ面を使って拭いてはいけないという知識を身につけ、これを実行しなければなりません。

	チェック項目	確認ポイント
③	額から鼻、頬、鼻の下、口の周囲を拭いたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しわを意識して拭いている。</li> <li>・こすように拭いていない。</li> <li>・口の周りの汚れがとれている。</li> <li>・拭き残しがない。</li> </ul>

#### (解説)

- ・利用者の顔を拭くとき、皮膚をこすりすぎると、かゆみ等が起こることを知っておかねばならない。
- ・しわのむきに注意して拭くことで、しわの間の汚れが取れ、利用者が爽快感を得ることにつながる。
- ・口の周りの汚れは、口からの感染が多いという危険性から、他の部位の汚れとは異なることについて知る必要があります。

	チェック項目	確認ポイント
④	利用者の爽快感に関する言葉かけを行い、利用者の表情を見ていたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の気分を聞くような声かけをしている。</li> <li>・利用者の表情を見ている。</li> </ul>

#### (解説)

- ・介護を続けていくためには、自分が行った介護が利用者にとって気持ちの良いことだったか、利用者にとって不快なことだったかを覚えていくことが大事です。このためには、利用者の気持ちを尋ね、覚えておきましょう。

#### 小項目

移転すべき介護技術として習得していなければならない技術。

#### チェック項目

小項目で求める介護技術の意義や必要性を理解した上での介護行為。

#### 確認ポイント

チェック項目が習得できていると判断するためのポイント。

#### 解説

チェック項目の必要性について解説。